



10月4日付
申3号

旅行業 営業職場で働く社員の将来を守ろう！

2019年度システムチェンジ・コストダウン計画びゅうプラザの業務運営体制の見直しに対する申し入れ

8月28日に提案された2019年度「システムチェンジ・コストダウン計画」においてびゅうプラザ新潟駅のVTSへ移管されることと、すでに移管されているびゅうプラザ長岡駅を廃止する説明を受けました。

この提案が実施されるとJR直営のびゅうプラザがなくなり、職場で働く社員から将来への不安、モチベーションの低下を訴える声が届いています。また、旅行業商品の購入機会を狭めることによりお客さまサービスへの低下につながることも懸念されます。今提案は『駅』の変革と新たな顧客接点創り（旅行業部門の今後の方向性）を見据えた内容であると説明されました。今後職場にどのような影響を与えるのか慎重に検討する必要があるため、新潟地本は申3号を会社側に提出しました。

■ 申3号 申し入れ項目 ■

1. 今提案における、現在本部—本社間で継続議論されている『駅』の変革と新たな顧客接点創り（旅行業部門の今後の方向性）との関係性を明らかにすること。
2. びゅうプラザ新潟駅を2020年3月31日で（株）びゅうトラベルサービスへ移管とした根拠を明らかにすること。
3. びゅうプラザ長岡駅を廃止とする理由を明らかにすること。
4. びゅうプラザ店舗廃止に伴い、駅営業に移行する業務は何か明らかにすること。
5. 4項目についての業務を移行するにあたっての対応策を明らかにすること。
6. 施策実施に伴うサービス低下に対する考え方を明らかにすること。

東日本ユニオンに加入してより良い労働環境を実現しよう！